



基礎研究医養成プログラム 所属学生の活動報告

海外研究留学

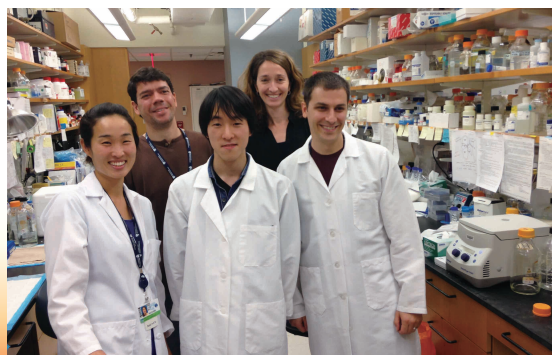
基礎研究医養成プログラムでは、所属研究室での活動実績や英語能力により選抜した学生に対し、海外での短期研究留学の旅費支援を行っています。

3年生泉宜秀君が、Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical Schoolへ短期研究留学しました。

2015.7.17 ~ 8.23

■ 3年生 泉 宜秀 君

基礎研究医養成プログラムでは、所属研究室での活動実績や英語能力により選抜した学生に対して、海外での短期研究留学の旅費支援を行っています。今回、生化学第一講座 横溝岳彦教授のご紹介により、3年生の泉宜秀君が2015年7月17日~8月23日に米国ボストンのDr. Yoshihide Kanaoka Lab, Division of Rheumatology, Immunology, and Allergy, Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical Schoolへの短期研究留学を行いました。



2年生小笠原義史君、松崎紘佑君が、生化学第一講座 横溝岳彦教授のご紹介により、韓国のUNIST (Ulsan National Institute of Science and Technology)へ短期研究留学しました。

2016.2.29 ~ 3.29

■ 2年生 小笠原 義史 君

Lim 教授の教室では、ショウジョウバエをモデルとしたサーカディアンリズム、とりわけ睡眠行動に関する研究を行っています。今回の留学では、CAFE assayを行い、スレオニン投与による睡眠促進(スレオニン効果)を検討しています。また、Gal4-UASシステムを利用してRNAi誘導を行うことで、ドパミントランスアミナーゼ(GABAT)及びShakerチャネルの睡眠における機能解析について学んでいます。さらに、免疫化学染色によるドパミン神経のクラスター同定を行っています。

■ 2年生 松崎 紘佑 君

がん細胞におけるシグナル伝達について研究しているDr. Yoon-Kyoung Choの研究室で、線維芽細胞における腫瘍増殖に対するオートファジーの効果・がん関連線維芽細胞への分化転換の研究を行っています。三次元共培養やイメージングなど今までやったことのない手技を学び、他にも毎週金曜日に開催される自然科学のセミナーにも参加しています。



基礎研究医養成のための順天堂型教育改革

平成24年度 文部科学省事業「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」「医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成」に採択されました。(39大学申請、10大学選定)

- ・この事業は、医学部及び医学系大学院において、魅力ある基礎研究医養成プログラムを構築する優れた取組みを支援するものです。
- ・これまでの研究医養成枠、基礎医学研究者養成奨学金貸与等の取り組みに加え、医学部・大学院をシームレスにつなぐ特別コースを実施します。

基礎研究医養成プログラム専用スペース



本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー南
7階S703

最新情報はコチラ → <http://www.juntendo.ac.jp/kenkyui>
お問合せはコチラ → e-mail : kenkyui@juntendo.ac.jp

海外学会発表

韓国で開催された 6th World Congress on Sleep Medicine で3年生の古谷祥吾君が発表しました

2015.3.21~25

■ 3年生 古谷 祥吾 君

2015年3月21日~25日に韓国ソウルにて開催された6th World Congress on Sleep Medicineで、3年生の古谷祥吾君が研究成果を口頭発表しました。題目は「Snoring And Depression In Japanese Population Aged 65 And Over: Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES)」です。いびきの頻度が老人のうつ症状と有意に関連し、特に記憶障害との関連が強いという内容でした。ディスカッションでは大変盛り上がり英語でのコミュニケーション力を試すという点でも、大変良い機会になりました。

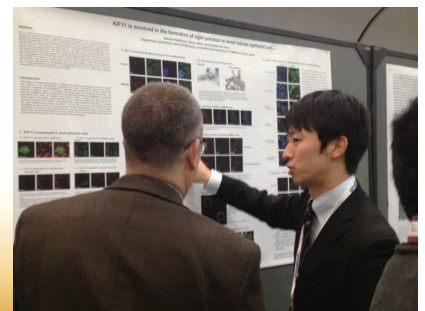


米国サンディエゴで開催された 2015 American Society for Cell Biology(ASCB) Annual Meeting にて5年生の中村聡君が発表しました

2015.12.14

■ 5年生 中村 聡 君

2015年12月14日に米国サンディエゴで開催された2015 American Society for Cell Biology (ASCB) Annual Meetingにて、5年生の中村聡君が研究成果のポスター発表を行いました。発表題目は「KIF11 is involved in the formation of tight junction in renal tubular epithelial cell」です。主に物質を運ぶ機能を持つとして知られているキネシンのうちの一つであるKIF11が、腎臓の尿細管、膀胱、肝臓の細胞と細胞の接着に関わることを初めて発見したという内容でしたので、これを証明するためのデータの解釈について細かく聞かれました。自分の英語能力で対応できるか不安もありましたが、事前の入念な準備と当日の工夫により十分に伝えることができたと思います。



国内学会発表

第47回日本医学教育学会大会で 4年生の難波春香さんが優秀演題賞を受賞しました



2015.7.25

■ 4年生 難波 春香 さん

2015年7月25日に、新潟で開催された第47回日本医学教育学会大会で、4年生の難波春香さんがポスター発表を行い、優秀演題賞を受賞しました。発表題目は「フィリピン大学医学部レイテ分校地域医療教育実習への自主的参加報告」です。



第85回日本衛生学会学術総会で 当時3年生の河野智考君が若手優秀演題賞を受賞しました



2015.3.26~28

■ (当時)3年生 河野 智考 君

2015年3月28日に和歌山(和歌山県民文化会館ホテルアバローム紀の国)で開催された第85回日本衛生学会学術総会で、河野智考君(発表時3年生)が研究成果を口頭発表し、若手優秀演題賞を受賞しました。発表題目は「福島第一原子力発電所職員の出勤日数とPTSR及び心理的苦悩の職種別リスク」です。



本プログラムに興味のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

本郷・お茶の水キャンパス

さくらキャンパス

○相談窓口 事務部 教務課 (0476-98-1001、内線215)

○内容について

基礎研究医養成プログラム室

○具体的な相談について

キャリア支援相談室

○手続き・その他について

本郷・お茶の水キャンパス事務室 (03-3813-3111、内線3221)